

英国内務省による声明

1. 英国内務省は3月18日付で、現在のイラク情勢等に鑑み、要旨以下の声明を発表 (<http://www.homeoffice.gov.uk>) し、テロ攻撃に対する高度の警戒措置を講じています。

(1) 英国は、変遷するテロリストの脅威に適応している。何年もの間、我々はアイルランドのリパブリカンによる高度のテロ脅威にさらされて生活してきた。最近では、特に2001年9月11日の同時多発テロ以降、国際テロの脅威が増大している。このような新しい状況で、我々は、化学、生物、放射線及び核兵器を使用した攻撃による脅威、また、IT及びコンピューターシステムに対する攻撃による脅威など新たな脅威にも用心し、警戒しなければならない。4月のチュニジアでの事件、10月のバリ島での事件及び11月のモンバサ（ケニア）での事件は、テロリストが最も守りの薄いターゲットへの攻撃を企図していることを示している。

(2) テロの脅威は今もって本物であり重大である。テロの脅威は今や、明白な攻撃目標を持つ組織化されたグループからだけでなく、より広い目標を持った、組織に属さない、個人間のゆるい連携からも生じている。主要な脅威は、国際テロ、特にイスラムのために行動すると誤って主張する者を含む過激派、民族主義者、分離主義者その他の暴力的なグループから生じている。我々は、イスラム教徒のコミュニティーを脅威とはみなしていない。

(3) 我々は、サダム・フセイン政権に対する軍事行動を悪用しようとする国際テロリストの危険性についても承知している。それゆえ、我々は、英国における高度の警戒態勢を維持しており、また、内務省は、多くの国々を対象に渡航者に対する警告を発出している。内務省は、国家の安全に対するあらゆる脅威について注意深く評価し続け、国民を守るために必要なあらゆる手段を講じるであろう。

2. 現在のイラクをめぐる情勢に関連するテロ攻撃の危険については、アル・カーイダ幹部によると見られるテロ攻撃を示唆するメッセージなどに関する累次の渡航情報に加え、3月20日付広域情報「対イラク軍事行動に伴うテロの脅威」を発出して改めて注意を呼びかけているところです。上記の英国内務省の声明にも留意し、テロ事件や不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報の入手に努め、テロの標的となる可能性がある施設等の危険な場所には出来る限り近づかない、大勢の人が集まる場所・周囲の状況に警戒するなど安全確保に十分注意を払って下さい。

また、テロ事件が発生した場合の対応策を再点検し、状況に応じて適切な安全対策が講じられるよう心掛けて下さい。

(問い合わせ先)

- 外務省領事移住部邦人特別対策室（テロに関する問い合わせ）
電話番号：（外務省代表）+81-(0)3-3580-3311（内線）3100
- 外務省領事移住部邦人保護課（テロに関する問い合わせを除く）
電話番号：（外務省代表）+81-(0)3-3580-3311（内線）5139
- 外務省海外安全相談センター
電話番号：（外務省代表）+81-(0)3-3580-3311（内線）2902
- 外務省海外安全ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/pubanzen/>
- 在英国日本国大使館
電話番号：020-7465-6500
<http://www.uk.emb-japan.go.jp>
- 英国内務省（Home Office）ホームページ
<http://www.homeoffice.gov.uk>